

地域医療を支える高齢者歯科

日本の高齢化率は右肩上がり、今や4人に1人が65歳以上の高齢者である超高齢社会となっています。歯科医院でもその傾向は顕著で、外来患者の3人に1人は高齢者となっています。今後も、高齢者の方々を対象に治療を行う機会は増えていく一方です。

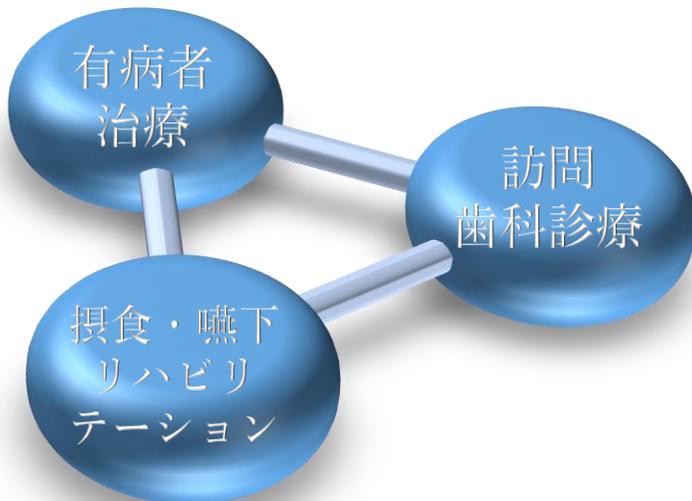
ところが高齢者は多くの合併症を抱え、多数の薬剤を服用し、容易に歯科治療を行えない場合も多々あります。また、今日600万人を数える要介護高齢者は、自力で外来を受診できません。在宅や介護施設、病棟での診療に対応できるか否か、高齢者に多い摂食・嚥下の問題に対応できるかどうか、今後、地域医療の要になるためのカギになります。



高齢者歯科 教授
Toru Naito

内藤 徹

当科で学べること



有病者治療

さまざまな全身疾患に対応するためには、全身病態の把握から、的確な診断・治療方針の立案、疾患ごとの対応法についての把握する必要があります。内科・外科とのカンファレンスや当科主催の勉強会、地域病院での臨床を通して、有病者治療のスキルアップを目指しましょう。

訪問歯科診療

介護施設や居宅に伺い、訪問歯科の実際の現場で実践を積み、口腔ケアや要介護高齢者の歯科治療を学ぶことができます。介護福祉士養成教員の講習を受講したり、キャンパス内の2つの介護老人施設での介護実習を受講して、より質の高い訪問歯科診療のスキルを得ることができます。

摂食・嚥下リハビリテーション

近年歯科での取り組みが注目されている分野です。摂食・嚥下機能を改善することで、高齢者の食べる楽しみを取り戻し、また誤嚥性肺炎を予防し、生命予後の延伸とQOLの向上に寄与できるからです。新入医局員は毎年実施している基本講習を受講し、臨床現場でVF(嚥下造影検査)・VE(嚥下内視鏡検査)やリハビリテーションの手技を学べます。

医局員・歯科研修医募集

- ・地域医療・高齢者歯科臨床に興味のある方
訪問診療、要介護高齢者診療、摂食・嚥下リハビリテーションのスキルが身につきます。
- ・認定医を目指す方
老年歯科医学会の認定医取得をサポートします。
- ・学位の取得を希望する方
疫学研究・臨床研究に興味のある方をお待ちしています。
大学院希望者大歓迎です。

